

－ カメムシによる斑点米の発生に注意！ －

カメムシは水田周辺の雑草地などをすみかとし、稲の出穂期以降に水田に侵入して斑点米の原因となります。今年も多発が懸念されており、地域全体で農道や畦畔、水田周辺の雑草地の草刈りを徹底することが重要です。



アカヒゲホノドリカスミカメ



アカスジカスミカメ



トゲシラホシカメムシ



カメムシによる斑点米被害

1. 水田畦畔などの草刈り運動の実施について

稲の出穂前に草刈りを徹底し、斑点米の発生を防止しましょう。

運動期間 7月1日(月)～10日(水)

一斉草刈り日 7月6日(土)～7日(日)



【注意点】

- 刈り取った草は、**絶対に隣接ほ場や用排水路に流入しないように**努めましょう。
- 草刈りで道路を汚したら、すみやかに片付けましょう。
- 暑い時期のため、適度な休憩や水分補給を行うなど、農作業事故と熱中症には十分に注意してください。

☆大麦跡田や転作田のすき込み

- 大麦跡田などは、草刈り運動期間中に必ず耕起し、麦稈や雑草をすき込みましょう。
※麦跡などにソバや地力作物などを作付けする場合も早めにすき込み、カメムシ類の生息場所をなくしましょう。
- エンバク田は、遅くとも7月中旬までにすき込みましょう。

2. 間断かん水の徹底

- 中干し後は、幼穂形成期まで「**間断かん水**」を継続しましょう。
- 中干しが不十分で足が沈むほ場は、**落水期間を長く**しましょう。

【間断かん水の目安】

- 1日湛水、2～3日落水。湛水時は、ほ場全体に水が行きわたる程度で十分です。